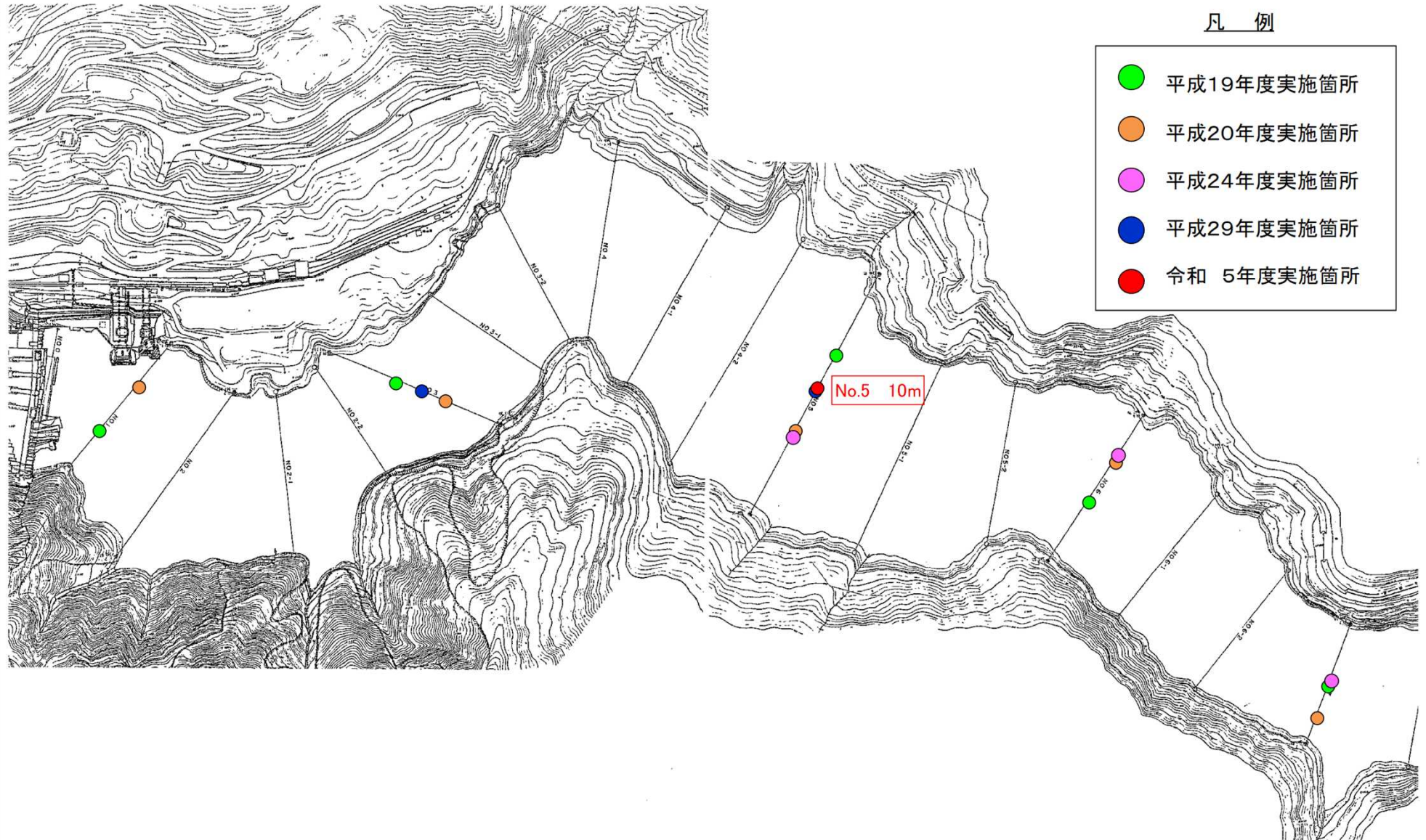


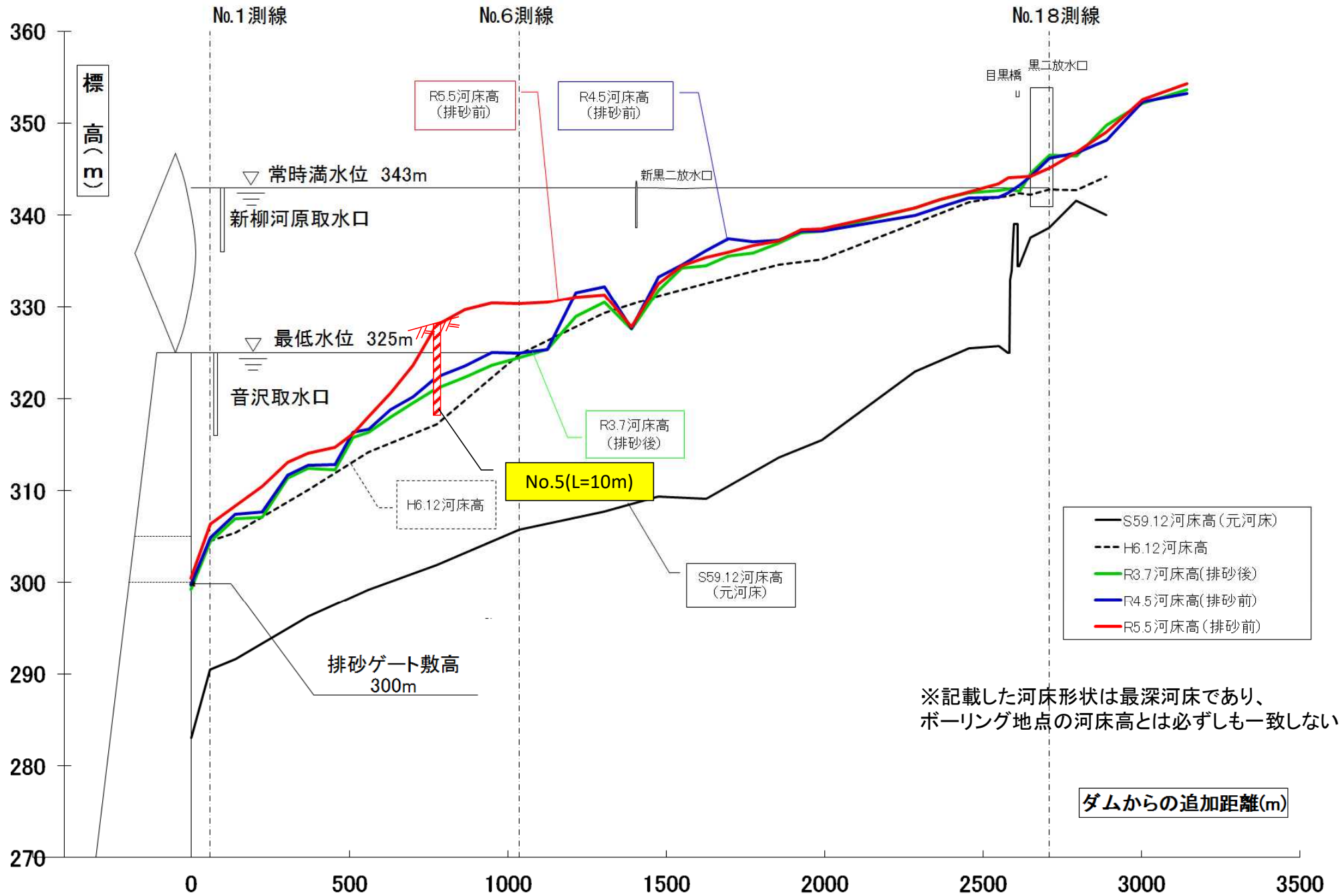
令和5年6月連携排砂および7月連携通砂に伴う  
環境調査結果について  
(ボーリング調査結果)

# 出し平ダム湛水池ボーリング調査 位置図



# 令和5年度出し平ダム湛水地内ボーリング調査結果

(最深河床)



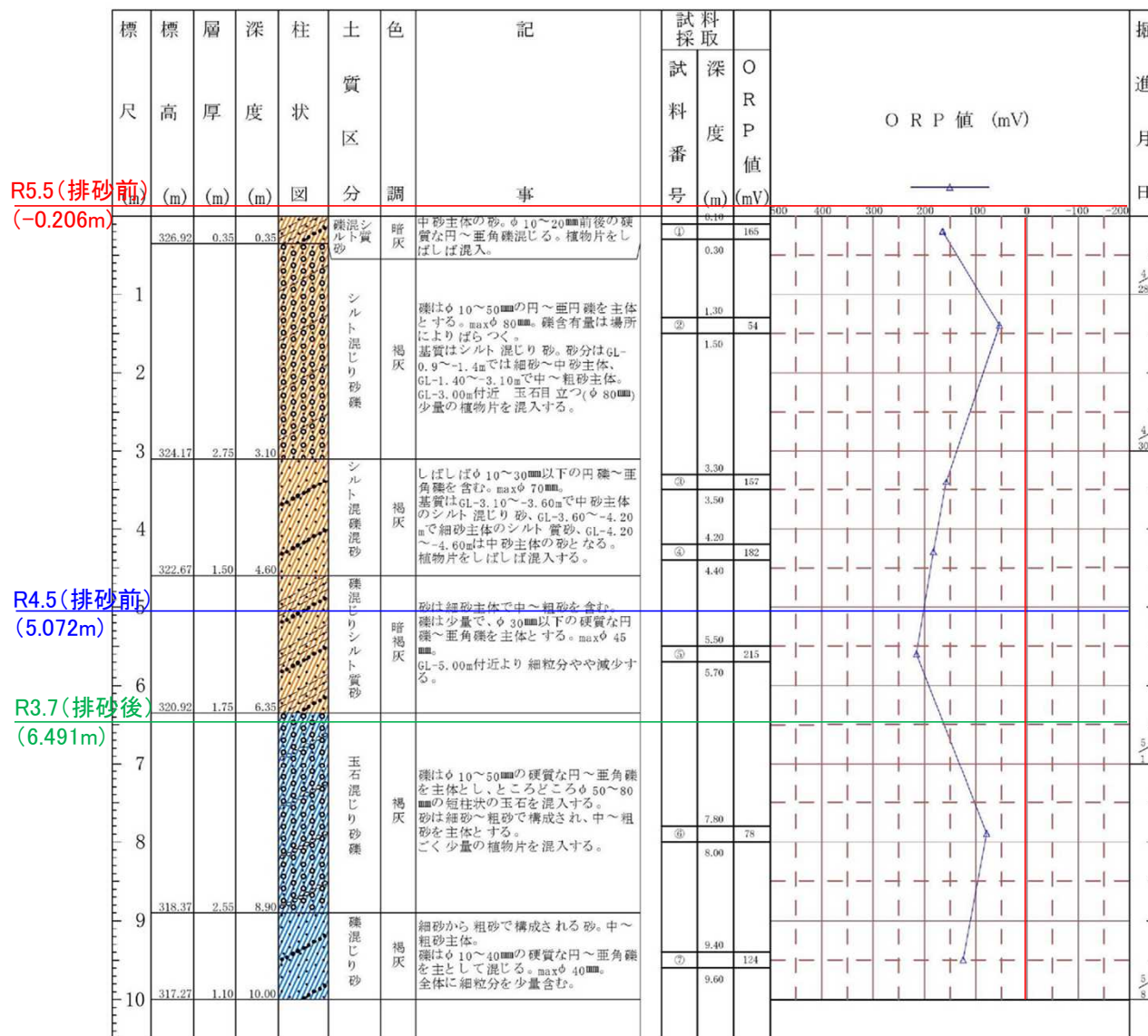
※記載した河床形状は最深河床であり、ボーリング地点の河床高とは必ずしも一致しない。

ダムからの追加距離(m)



# 令和5年度出し平ダム湛水地内ボーリング調査結果

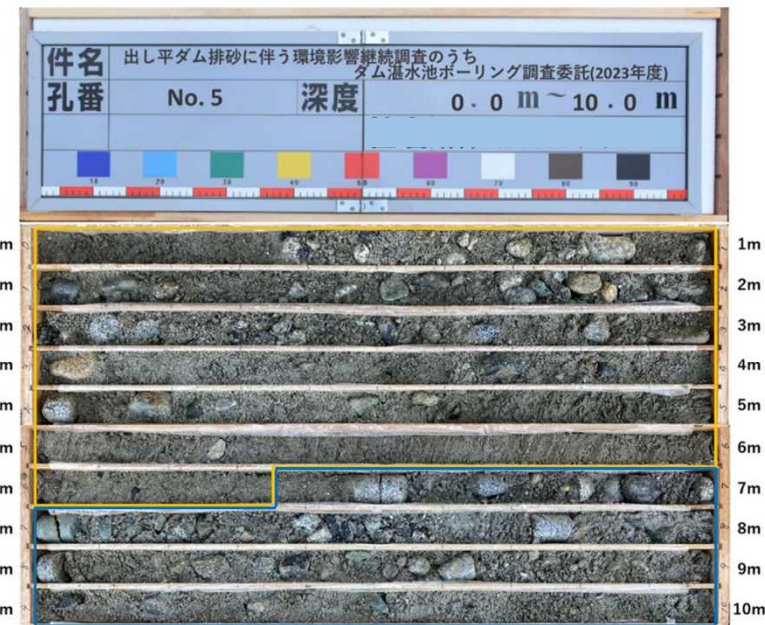
## No. 5 出し平ダム湛水池ボーリング調査結果(柱状図、コア写真)



【コア採取日：R5.4.27～R5.5.1】

No.5孔 L=10.0m

出し平ダム湛水池 NO.5測線中央

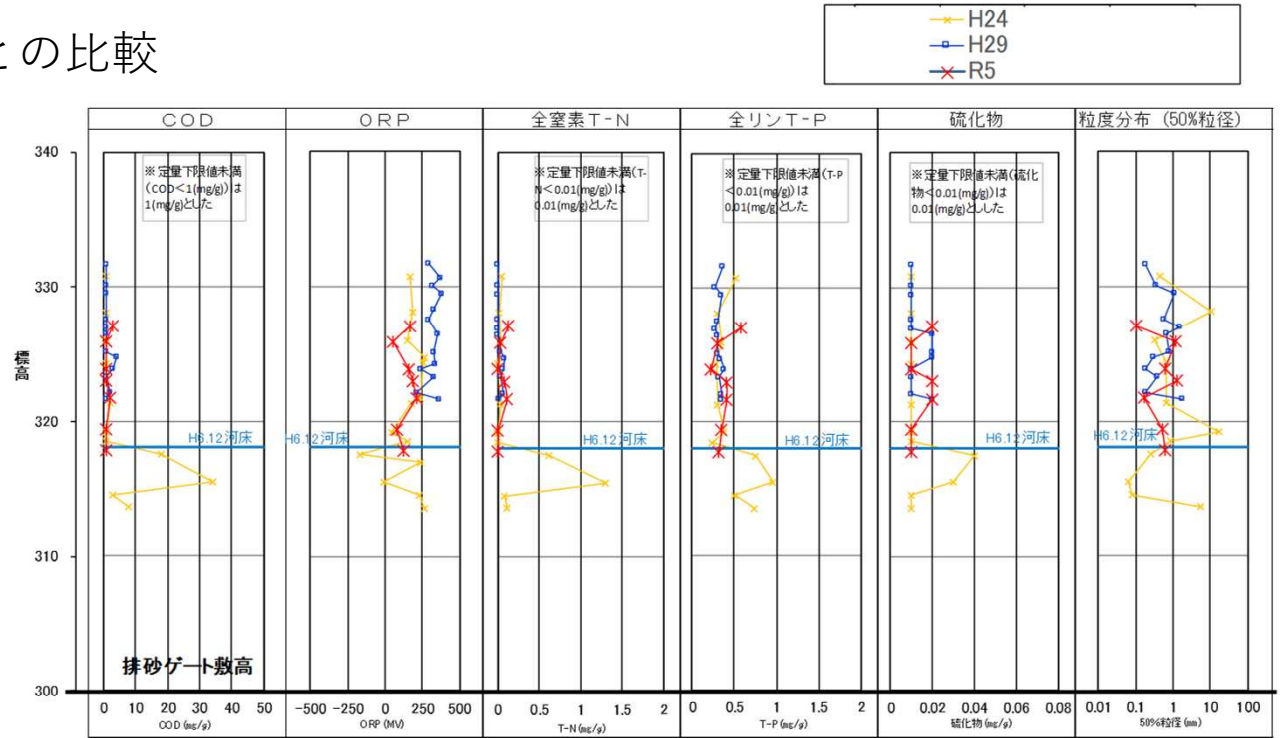
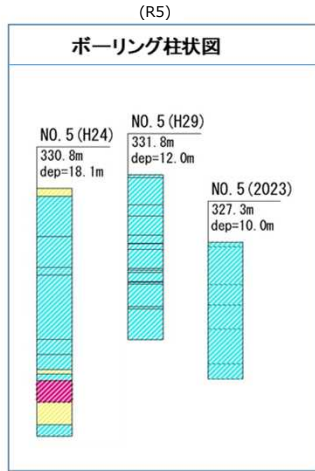
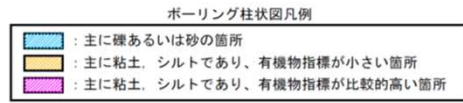


凡例

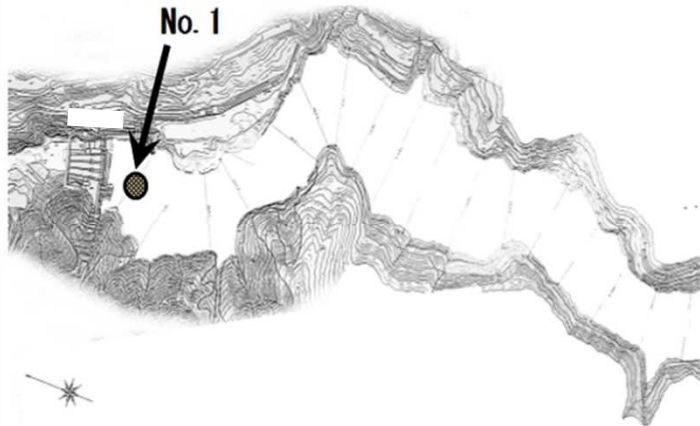
- 主に礫あるいは砂の箇所
- 粘土シルト分を一定量含み、有機物指標が比較的小さい箇所(ORP0以上)
- 粘土シルト分を一定量含み、有機物指標が比較的大きい箇所(ORP0未満)

# No.5ボーリング試料分析結果

## ○過年度ボーリング実施分との比較

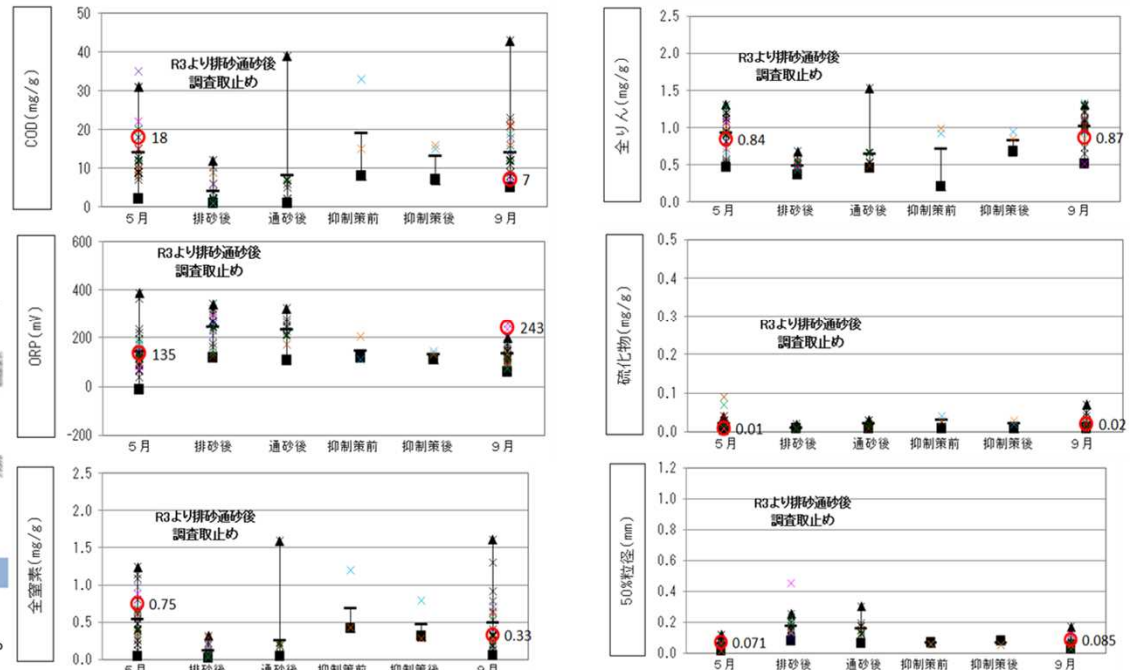


## ○令和5年度底質調査結果



出し平ダム湛水池底質調査位置図

※ボーリング調査位置とダム湛水池底質調査位置は一致していない。



# 令和5年度出し平ダム湛水地内ボーリング調査結果

## ボーリング調査結果の総括

- ①令和3年7月の排砂以降に堆積した土砂の大半が砂（礫やシルトを含む）であった。
- ②今回調査地点におけるボーリング試料分析結果を過去のデータと比較すると、有機物指標などに顕著な変化は見られない。
- ③これまで連携排砂において実施した環境調査（出し平ダム湛水池底質（底質））と今回実施したNo. 5ボーリング調査結果の比較では、各指標とも大きな違いは見られない。